

都 市 計 画

昭和44年度に都市計画法が改正され、それに伴い昭和45年度は全国の都市においていっせいに市街化区域設定などいわゆる「線引き」が行なわれ、住民参加のもとに用途地域制などの詳細な計画の策定作業が行なわれ、いままでの都市計画の再検討が行なわれてきた年である。この中で、都市計画事業も都市計画法の改正により、従来よりも明確な位置づけを与えられてきた。一方、高層マンション建設に伴う日照権問題、自動車交通の増大に伴う自動車の排気ガス・騒音の問題、また大気汚染の問題など、都市公害の問題が大きくなり、住民の環境保護に対する意識の向上につれ、都市計画事業についても住民の反対が強くなり、事業の実施が難しくなる傾向が生じてきた。その点でも、都市計画の再検討が住民側からも強く要請されてきた。

名 称	デ	ー	タ
2.1.43 豊平川通(札幌市)	事業実施箇所：札幌市南7条西1丁目一南38条西5丁目	事業主体：札幌市	工事期間：昭和44.8.25～46.11.30 事業予算：15億3000万円 延長：5.1 km 幅員：道路幅 10×2=20m・車道幅 7.5m×2・緑地帯 1.5m×2・歩道幅 1.0m×2 施工業者名：鹿島道路・地崎組・道路工業
創成川通(札幌市)	事業実施箇所：札幌市南6条一北4条間東西1丁目	事業主体：札幌市	工事期間：昭和45.9.24～46.12.10 事業予算：13億3000万円 延長：1357 m 幅員：全幅員 56.82 m・車道幅 16.0 m×2・歩道幅 4.0 m×2 施工業者名：岩田建設・大林組・熊谷組・地崎組
南7条大橋(札幌市)	事業実施箇所：札幌市南7西1～水車町	事業主体：札幌市	工事期間：昭和44.9.19～46.11.26 事業予算：5億1000万円 橋長：286.0 m・幅員：車道 13.0 m・歩道 2×3.0 m 荷重：TL-20 t、雪荷重 100 kg/m ² 施工業者名：日本高圧コンクリート・田中組
街路整備事業(環状8号線)	事業実施箇所：東京都世田谷区桜ヶ丘4丁目一同杉並区上高井戸2丁目	事業主体：東京都	工事期間：昭和40.4.1～46.7.31 事業予算：62億8000万円(うち、工事費20億1000万円・用地費21億6000万円・鉄道高架費21億1000万円) 施工業者名：前田建設工業・山田建設・池田建設
街路整備事業(板橋団地関連街路整備事業)	事業実施箇所：東京都板橋区高島平1～2丁目・西台町・三園町	事業主体：東京都	工事期間：昭和43.12.11～47.3.31 事業予算：9億7000万円(昭和43～46年度) 施工業者名：日産建設・小松建設工業・関口工業
日本住宅公団横浜国際港都建設計画洋光台土地区画整理事業(横浜市)	事業実施箇所：神奈川県横浜市磯子区	事業主体：日本住宅公団	工事期間：昭和39年度～46年度 事業予算：約64億8000万円 都市計画区域：地区の指定 昭和32年12月17日一部指定・昭和39年9月1日追加指定 都市計画街路：1.3.29幅員20～24 m・昭和41年10月11日決定、1.3.28幅員22 m 都市計画以外の重要施設および計画との関係：国鉄根岸線は現在地区中央に存する洋光台駅まで開通している 施工業者名：日本国土開発・日本機械土木・飛島建設・千代田
潮来町浪逆土地区画整理事業(茨城県)	事業実施箇所：茨城県行方郡潮来町	事業主体：浪逆土地区画整理組合	工事期間：昭和44年度～49年度 事業予算：約53億円 施行面積：195 ha 都市計画街路：なし 区画整理：幅員 6～22 m・延長 41000 m 公園：8ヶ所・総面積 59000 m ²
阪神間都市計画常光寺土地区画整理事業(尼崎市)	事業実施箇所：兵庫県尼崎市常光寺	事業主体：尼崎市	工事期間：昭和43年度～48年度 事業予算：10億2000万円 施行面積：7 ha 都市計画道路：尼崎豊中線ほか1線・延長 514 m 公園：奥ノ防公園(940 m ²) 関連事業：尼崎市常光寺住宅地区改良事業
神戸国際港都建設計画新神戸駅地区土地区画整理事業	事業実施箇所：兵庫県神戸市葺合区・生田区	事業主体：神戸市	工事期間：昭和42年度～46年度 事業予算：41億6000万円 施行面積：29.6 ha 都市計画道路：生田川右岸線ほか4路線・延長 1628 m 駅前広場：17400 m ² 公園：生田川公園ほか2ヶ所・面積 7795 m ²
金沢市都市計画武蔵ヶ辻第2地区市街地再開発事業	事業実施箇所：石川県金沢市	事業主体：金沢市	工事期間：昭和45.4.1～50.3.31 事業予算：74億5000万円(うち、建築施設工事費52億2000万円) 施工業者名：竹中工務店

大都市周辺においては、大阪の千里ニュータウンをはじめとし、東京の多摩ニュータウン、千葉の千葉ニュータウン・海浜ニュータウン、横浜の港北ニュータウンなど、計画人口が数十万人の大規模宅地開発計画がクローズアップされ、着々と事業が実施されつつあり、そのほかにもいくつかの構想が検討段階に入ってきた。

都市計画事業としては、全国的に行なわれとくに目立つという地区はないが、北の札幌ではオリンピック関連事業として、地下鉄建設・街路整備・高速道路建設・公園の整備など都市施設の整備が行なわれた。

なお、都市計画事業費も毎年着実に増大してきてはいるが、都市計画法の改正、都市公害問題、住民意識の向上など都市計画そのものが、新しい出発点にきた観が深い。

概	要	特	色
札幌市を南北に縦貫する最も重要な路線で、わが国で一級河川の堤防上に建設された初めての準高速的な道路である。完成時には兼用工作物となることから、その構造は築堤堤体および堤外側にはいかなる工作物をも設けない、また、構造物は現況築堤(計画築堤)に嵩上げる構造であり、河川の維持管理に支障のないよう計画されたものであり、堤外河川敷を中央分離帯とし左岸道路は北進、右岸道路は南進する一方通行の道路で、3年間の短期間に完成したものである。			
札幌市中心部を南北にとおっている創成川通のうち、国道12号線と36号線との交差点を立体交差化し交通混雑の緩和をはかるものである。南6条から北4条までの工区のうち南5条一南2条間336mと大通一北2条間403mを創成川をはさみ東西緑地帯沿いに7.5m2車線のアンダーパスとした。また、側道については8.5m2車線とし、地下とあわせて東西両側共4車線とし、アンダーパスによらない平面部も4車線に拡幅した。除雪対策としてアンダーパス部分には全面ロードヒーティングを施工してある。			
札幌市内を南北に貫ぬく幹線道路として創成川通と豊平川通の工事が行なわれたが、南7条大橋はこの両路線を結ぶ位置に豊平川を渡る橋梁としてかけられた。下部工は場所打鉄筋コンクリート杭を基礎に用いて昭和44年9月に着工した。上部工はフレッシュ工法による連続PC箱桁橋で昭和45年5月に着工し昭和46年11月に竣工した。上部構造はスパン40.55mの4径間と3径間の連続桁で、全幅20mの2箱桁断面となっている。			
東京都の道路交通網の最重要路線として、23区の最外周部40.3kmを受けもつ環状8号線の一部で、4.57km(幅員25~33m)を整備した。この区間には、立体交差橋2ヶ所・横断歩道橋12橋・鉄道高架2ヶ所を、人間優先・歩行者安全、自動車交通との調和をはかるため全国で最初に採用したスロープ式歩道橋をはじめ植樹による緑化、ガードレール等の施設を地域住民の意見を考慮し設置した。また、第三京浜・東名道等、高速道路からの都内流入と交通機関相互による事故防止、交通容量の増大をはかった街路事業である。			
工事総延長4570m・幅員30~40mの高島平団地内のモデル街路で、とくに補助203号線は団地内のメインルートで緑道を緩衝地帯としかつ遊歩道・自転車道を兼用できるようにした。また、灌木帯やバスベイ等の道路付属物の完備を期した。現地は低湿帯に埋め土しているため舗装構造は転層工法とし、沈下等のできるだけ耐えうるようにし、かつ経済的な舗装質となるようつとめた。このように、できるだけ緑を多く取り入れ、歩道幅員等に余裕をもたせ、環境良化・美化をはかった街路事業である。			
本地区は横浜市磯子区内に位置する横浜駅から地区中心まで南東西約10km、京浜急行屏風ヶ浦・杉田駅から地区まで約2kmで、東西約1.4km・南北約2.2km、楕円形状の起伏に富んだ丘陵地である。本事業は、横浜国際港都建設計画に基づき理想的な新住宅市街地を建設することを目的とし、日本住宅公団の行なう勤労者のための集合住宅の建設と、大規模な宅地造成にあわせて、公共施設の整備改善を行なうものである。			
本地区は干拓地であり、高い堤防で囲まれた水田地帯で既存市街地から約3kmと離れているため都市化の影響もほとんどなかった所である。しかし、鹿島臨海工業地帯の計画や国鉄鹿島線の新設、地区に接する24mの有料道路等急激な工業開発に対処して約720万 ³ mの浚渫工事を行なう、人口1万人・小学校1校・近隣公園2ヶ所・児童公園6ヶ所・下水道処理場、あるいは行政施設・アミューズメントストア等を計画し、民間デベロッパーも参画して快適な近代都市生活が維持できるよう地域的社会的な開発が行なわれるよう計画されている。			
本地区は尼崎市の東部に位置し、公共施設の整備の遅れた密集市街地であったが、区画整理事業により、都市計画道路の新設をはじめとする公共施設の整備改善を行なうほか、あわせて住宅地区改良事業を施行しているのが特徴的である。合併施行により、不良住宅の除却を容易にし、在来の宅地を集合換地し、過少宅地の弊害が避けられ、中高層住宅の用地の確保とその建設が可能となるなど、市街地整備事業の効果を著しく高めている。			
本事業は山陽新幹線神戸駅の新設に関連する事業で、生田川右岸線等の都市計画道路と有機的に結びうるよう計画された駅前広場を新設し、あわせて周辺の道路・公園等の公共施設を拡充整備して、神戸の新しい玄関口づくりをめざすものである。とくに、必要な駅舎および広場用地については、区画整理手法による利点を生かし、中学校移転跡地を有効に利用し、さらに予定地内の宅地を墓地移設跡地へ飛換地することによって確保している。			
金沢市のメインストリートの一つで国道8号線と金沢駅前通り線の交差点に位置する武蔵ヶ辻地区は、現在、交通が満杯であり、将来においても一層の増大が予測される。このため、交通需要の緩和とあわせて土地の高度利用をはかるため、市街地改造事業に引続き都市再開発法に基づく市街地再開発事業を実施した。当地区は市の中心部にあたり、都心商業機能の拡大をはかるため、施設建築物は、百貨店を核に、地元権利者を主とした専門店およびホテルとして計画された。46年12月に権利変換を決定し、47年3月から施設建築物の工事に着手した。			

名 称	テ	ー	タ
真 駒 内 公 園 (札幌市)	事業実施箇所：札幌市真駒内	事業主体：北海道	工事期間：昭和42年度～48年度 事業予算：15億円 面積：83.1 ha
吉 野 公 園 (鹿児島市)	事業実施箇所：鹿児島県鹿児島市	事業主体：鹿児島県	工事期間：昭和39年度～46年度 事業予算：5億円 面積：31 ha

**水資源・上水道
下水道・工業用
水道・環境衛生**

水資源開発は、都市人口の集中・増大および産業の発展等により急激に増大する水需要に対処するため、多目的ダムの建設を主に河川水の広域的利用、水利用の合理化等をはかるものである。また、近年水資源の量のほか質が問題となっており、今後とも十分な検討と対策が望まれる。

上水道(簡易水道・専用水道を含む)の普及率は昭和47年度末で79%に達し、国民の公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与し、都市の産業基盤としても重要な役割を果している。給水量は年々増加しており、とくに生活様式の多様化、建築物の高層化によるビル用水、大都市周辺における住宅団地等の造成による都市化の影響が大きい。これらの給水量を確保するため、建設事業は依然として活発であり、昭和46年度は2700億円以上が見込まれている。

下水道は、都市の根幹的施設として、公共用水域の水質保全・生活環境整備・防災に資する役割は

名 称	テ	ー	タ
東駿河湾工業用水道厚原浄水場 (富士市)	事業実施箇所：静岡県富士市吉原	事業主体：静岡県	工事期間：昭和45.10.19～46.6.30 事業予算：3億4000万円 沈澱池：鉄筋コンクリート造り26.4×16.3×4.6 m 8池 傾斜板：2 mm ×1.0×1.0 m 5400枚×8池 クラリファイヤー：リングベルト式・24.1×4.1 m 8池分 施工業者名：西松建設・水道機工・ワセダセットリング
鹿児島臨海工業用水道水田川取水環 (鹿児島市)	事業実施箇所：鹿児島市上福元町	事業主体：鹿児島市	工事期間：昭和45.12.8～46.11.15 事業予算：1億2000万円 形式：鋼製越流型ローラーゲート 長さ：22 m × 3 門 巻上げ高：4 m 管理橋：単純活荷重合成桁2等橋 施工業者名：栗本鉄工・新日本製鉄・小牧建設
葛南地区工業用水通南八幡 浄配水場(市川市)	事業実施箇所：千葉県市川市南八幡	事業主体：千葉県	工事期間：昭和41.10～46.3 事業予算：8億2000万円 着水井：鉄筋コンクリート造り16.5×4.5×29.0 m 1池 沈澱池：鉄筋コンクリート造り27.4×4.7×41.2 m 2池 配水池：鉄筋コンクリート造り40.7×4.5×42.8 m 2池 管理本館：鉄筋コンクリート造り延面積1229 m ² 施工業者名：西松建設
大阪市東住吉清掃工場	事業実施箇所：大阪市東住吉区瓜破東之町1910番地	事業主体：大阪市	工事期間：昭和44～46.5 事業予算：約23億円(用地費を含む) 焼却能力：600 t/日(200 t/日×3基) 炉形式：連続燃焼式焼却炉 給じん方式：ピットアンドクレーン方式 除じん方式：コルチサイクロンおよび電気集じん装置 施工場所：大阪市東南端大手口川辺 施工業者名：〈焼却設備〉丸紅飯田、〈工事〉日本テロール・日立造船、〈土木工事〉熊谷組
神奈川県内(企)酒匂川系導水路	事業実施箇所：神奈川県	事業主体：神奈川県内広域水道企業団	工事期間：昭和44.7～48.6 事業予算：403億円 導水トンネル：標準断面幅×高さ(3.8×3.8 m)・馬蹄型延長32 km 導水管：内径3100～2900 mm・延長13 km 水路橋：箱型桁3.8 m × 3.4 m・延長950 m 導水ポンプ：14台延べ5万3200 kw × 3ヵ所 施工業者：飛鳥建設・鹿島建設・熊谷組
白川浄水場(札幌市)	事業実施箇所：札幌市白川	事業主体：札幌市	工事期間：昭和42.4～47.3 事業予算：20億6000万円 計画1日最大給水量：12万m ³ 主要な施設：薬品沈澱池4池・急速濾過池8池 施工業者名：三井建設・横河電機
豊田浄水場(豊田市)	事業実施箇所：豊田市浄水町	事業主体：愛知県	工事期間：昭和45.4～51.3 事業予算：34億5000万円 計画1日最大給水量：23万1000 m ³ 給水対象市町：岡崎市・豊田市・安城市・知立市・三好町 主要施設：薬品沈澱池8池・急速濾過池48池 施工業者名：飛鳥建設・日立製作所・日本鋼管
柴島浄水場(大阪市)	事業実施箇所：大阪市東淀川区柴島町	事業主体：大阪市	工事期間：昭和44.4～50.3 事業予算：148億1000万円 計画1日最大給水量：79万9000 m ³ (新設の急速濾過設備) 主要施設：凝集沈澱池15池(改造)・急速濾過池44池 施工業者名：鹿島建設・大成建設